

## 学力調査の結果

今年4月に行われました6年生対象の「全国学力・学習状況調査」、4・5年生対象の「みえスタディチェック」の結果についてお知らせします。

### 【全国・三重県と本校の正答率比較】

	全国学調		みえスタディチェック			
	6年生		5年生		4年生	
国語	本校	平均より 少し下回る	本校	平均を 上回る	本校	平均を 上回る
算数	本校	平均より 少し下回る	本校	平均を 上回る	本校	平均を 上回る
理科			本校	平均を 上回る		

みえスタディチェックは例年同じ傾向の問題が出題されるため、比較的正答率が上がる傾向がみられますが、6年生が受けた全国学調は、まったくの初見のため、問題を読み取る力がかなり必要とされます。それぞれの教科ごと・問題ごとに分析したところ、次のようなことがわかりました。

#### <6年生>

##### よかったところ

- 国語の無回答率は、三重県よりも少なく、何とか回答しようとしている。
- 国語において、日常よく使う敬語については、全国・三重県平均を大きく上回っている。
- 間違いやすい算数の図形認識は、全国・三重県平均をかなり上回っている。

##### よくなかったところ

- 国語の記述式問題で、問いに対する条件を満たしきれず不正解となっている児童が多い。
- 漢字の書き取りができていない。
- 読む力を必要とする問題の正解率が低い。
- 算数の基本的な計算間違いがみられる。(40×50を200としてしまう)
- 数学的解釈を用いて答える算数の記述式問題の正解率が低い。

全体として、問題文をきちんと読み取れていないための凡ミスが目立つように思いました。日頃から、例えば読書をする習慣をつけるなどすることで、読む力がつき、問題文をきちんと読み取ることができるのではないかと考えられます。

#### <5年生>

### よかったところ

- 各教科すべての領域で、三重県平均を上回っている。
- 小数の除法や分数の意味について、三重県平均をかなり上回っている。
- 基本的な計算力は身につけている。

### よくなかったところ

- 全体的に算数・理科において、表やグラフの読み取りができていない。
- 記述式問題で、完全に条件を満たした回答ができていない。
- 繰り下がりのある減法や3位数×2位数の計算ができていない。

### <4年生>

#### よかったところ

- 各教科すべての領域で、三重県平均を上回っている。特に算数はよくできている。
- 分数の意味について理解できている。
- 無回答がとても少ない。

#### よくなかったところ

- 国語において、主語の認識が足りない。
- 算数において、文章から計算式を立てることができていない。

4年・5年ともに三重県平均を上回っていますが、単純なミスも散見されています。問題をしっかり読み取る力がまだまだ不足しているように思えます。初見の問題についても、あわてて解答するのではなく、しっかり問題文を読み取る必要があります。

## 今後の取組について

今回の結果を受けて、石薬師小学校では夏休みに研修会を開き、学校としての成果と課題についてしっかり情報共有しました。その上で、各学年が2学期以降の授業において、どんなところに注意しながら進めていくのかを検討しました。

全体的な印象としては、「読む力」と「書く力」を伸ばす必要を感じているところです。「読む力」に関しては、1学期末に子どもたちに行ったアンケート結果(次の学校だよりに掲載予定)によると、学年が上がるにつれて、読書の時間が減ってきていることが明らかになっています。やはり活字を読むことは、「読む力」を伸ばすには有効な手段の1つといえます。宿題で出されている「音読」も有効な手段ですね。読み飛ばすのではなく、ゆっくりじっくり音読することが大切です。ご家庭でもお子さまが音読しているとき、ゆっくりじっくり読んでいるかに注目してみてください。

「書く力」は、やはりパソコン入力するようになってから、弱くなっていると思います。パソコン入力で自分の考えを発表することはもちろん大事ですし、協働的な学びの1つとして全国的に取り上げられているものです。しかし、授業ではそれだけでなく、鉛筆で書くこともしっかり行っていきます。「書くのって面倒・・・」と思うのもわかりますが、書くことによって伸びる力があるのです。

6年生は来年には中学生になり、勉強のレベルが上がります。他の学年もいずれは中学校で勉強するので、今のうちに必要な学力を身につけられるよう、先生たちも楽しくてためになる授業を工夫していきます。今よりも少しずつ頑張っていきましょう。